

田島大牧線岸町7丁目付近の信号設置完了!

地元市民からの長年の要望が叶い信号が設置され、12月19日13時より運用開始となった。周辺4自治会(岸町七丁目自治会、岸町五丁目みどり自治協力会、岸六自治会、高砂二丁目自治協力会)からの要望書を小柳が同席のもと清水市長に提出しており、この度信号設置が実現した。1つの町会の真ん中を通る大通りという点も含めて、街の分断化や横断の危険性が指摘されてきていた場所であった。さいたま市としても、信号設置が可能な状態で道路を完成させており、県の公安委員会の信号設置許可を待っている状況であった。半導体不足のために信号の製造が追いつかずこの時期までずれ込んでしまった。合わせて、危険横断防止のために中央分離帯に柵も設置されている。



小柳の視点

街の分断は、この地域だけの問題ではない。今後は、将来の自動車の保有台数や交通量、自動運転の実現など社会情勢の変化を勘案し、道路や歩道の幅員、街路樹などの在り方、ベンチの設置など根本的な道路計画の見直しも必要と考える。

小柳よしふみの地域活動



排水路の清掃・除草作業
排水路の衛生管理は、地域の住環境にとって重要です。



ごみゼロ運動
市内一斉で行われたごみゼロ運動は、地域の絆づくりにもなります。



大正大学での講義
本年もさいたま市をテーマに研究している学生に対して、講義を行いました。



わくわく浦和区フェスティバルの防災ブース
浦和区防災アドバイザー協議会のメンバーとして、今回も講師役を務めました。

ご意見・ご要望をお聞かせください

お名前

TEL

ご住所



市政へのご要望・ご質問は
小柳よしふみ事務所

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F
TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233

E-mail info@koyanagi.jp
ホームページ http://koyanagi.jp/
ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

ご来場をお待ちしております! 第46回 市政報告会

北浦和
クイーンズ伊勢丹3階
日時: 令和5年 1月22日(日)
18:30~19:45
会場: 北浦和カルタスホール
第1会議室(北浦和1-7-1)

入場無料
zoom
オンライン
参加可



こやなぎ 小柳よしふみ

小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ http://koyanagi.jp/ ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

小柳よしふみ
市政レポート
2023.1 vol.51



さいたま市の未来は、「さいたま未来」がつくる!

～さいたま市民中心のまちづくりが加速する～

皆さんにおかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのことと思います。

1人ひとりが日常の幸運を実感できる2023年になりますようお祈りいたします。

昨年末には、サッカーワールドカップが開催され、日本代表の活躍と共に素晴らしい試合の連続に感動した方も多いかったと思います。また、浦和レッズが決勝戦に進出し、埼玉スタジアム2002での開催が決まったACLも楽しみです。

一方で、新型コロナウィルスの感染拡大はいまだ収まりません。ただ、重篤化する感染者数は落ち着いています。感染対策を取りながら、できることをやれる環境を作っていくべきであります。特に、子ども世代にとっての1年は本当に大きな1年です。大事にしてあげなければと考えています。

さて、昨年11月に小柳よしふみ、土井裕之2名の議員で結成した新会派「さいたま未来市議団」は、12月定例会において存在感を発揮できました。特に、議員定数に関する条例(議員数と各選挙区の定数を規定した条例)の提案者として議案の取りまとめを行い、本会議での可決に主導的立場で取り組みました。これにより、予定されている地方選挙の違法状態を疑われる状況が回避されました。ただ、議員定数の在り方に関しては、今後も検討するべき課題だと考えております。

小柳よしふみの市議会議員としての3期目は、残すところあと3か月ほどとなっています。今任期の集大成として残された課題に積極的に取り組むとともに、さいたま市の未来について改めて考える時間としていきたいと思います。さいたま市民の幸せを最高に考える活動を、さらに加速してまいります。小柳よしふみの活動にご期待いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、寒い日がまだ続きます。皆さんにおかれましては、どうぞ自愛いただき、元気に過ごされることを心よりお祈り申し上げます。

■昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型

■浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大商学部卒業。

■埼玉銀行を経て、警備会社を経営。
平成23年よりさいたま市議会議員(浦和区)。

■平成27年(2期目)、
平成31年(3期目)浦和区にて当選。

■文教委員会
決算特別委員会(理事)
議会改革推進特別委員会



議会ごとに市政レポート発行(vol.50)
市政報告会開催(45回)継続中!

TOPICS

さいたま市的人口134万人目前 浦和区は2番目

本市の人口は、1,339,375人(12月1日現在)で、前年同月比+7,118人となった。全国20政令市中では9番目。区別では、南区の193,423人が最大で、浦和区は168,525人で10区中2番目。



パパママ応援ギフトの支給事業

国補正予算に対応し、令和4年4月1日以降を対象期間として、相談支援のアンケート、また期間内に妊娠している妊婦に対し5万円を、期間内に出生した者の養育者に対し出生者1人当たり5万円を支給する。令和5年2月より事業開始予定。



浦和レッズ 第2戦は埼スタで開催! ACL決勝

アジアサッカー連盟より、浦和レッズが進出しているAFCチャンピオンズリーグ(ACL)決勝の第2戦の日程を5月6日に変更し、埼玉スタジアムにて開催と発表があった。第1戦は4月29日に対戦相手の本拠地で行われる。当初は、芝の張り替えのために埼玉スタジアムを使えず、浦和が日程変更を要望していた経緯がある。署名活動を行ったサポーターの熱意が実った。

兎を神使とする調神社

社名を調(つき)神社と云い、地元では「つきのみや」と呼ばれている調神社は、兎が守り神となっていて、狛犬ではなく狛兎が置かれている全国的に珍しい神社。鳥居のない神社として有名だが、兎年には例年以上の参拝客が訪れる。



12月定例会より

12月定例会では、予算議案8件を含む計53議案が審査、可決された。半導体不足や光熱費の高騰に対する対策等の社会情勢を反映した事案、送迎車での子どもの置き去り対策やこの時期恒例の公共施設の指定管理事業者の選定などの議案となっている。

契約変更の議案の中において、当初見込んでいたものと差異が生じてという説明が散見される印象を持った。この点、文教委員会所管部分において質疑を行ったが、工事等に取り掛かる前の調査業務の精度について改善の余地があると感じた。今後は、その事前調査の評価も含めて、調査業務自体の在り方を再検証するべきと考えている。

また、さいたま未来市議団の小柳よしふみ、土井裕之2名が提出者(他12名が賛成者)となる議員提出議案が可決され、来春のさいたま市議会議員選挙の各区の定数割が決定した。

【補正予算(追加補正含む)の概要】

●出産・子育て応援事業	1,403,750千円
令和4年度期間内での妊婦に5万円、出生者1人あたり5万円の給付事業など	
●農業交流施設整備事業アドバイザリー業務	(債務負担行為)限度額17,853千円
●マイナンバーカードによる生活保護受給者の確認システム導入に伴う改修	(債務負担行為)限度額18,504千円
●半導体不足の状況下、機器の調達前倒し	(債務負担行為)限度額647,882千円
●子育て施設の送迎車両への安全装置、子どもの見守りタグの導入など	161,884千円
●ナラ枯れ防除対策支援補助金	3,000千円

QRコード

※その他、令和5年度からの指定管理者の指定や公共事業の平準化に伴う債務負担行為の設定など。出産・子育て応援事業は、2月下旬から順次給付予定。

ナラ枯れ補助金



静岡県牧之原市の3歳園児が置き去りにされた事故を受けてのもので、認可保育園、認可外保育園、民設放課後児童クラブ、障害児通所支援事業所における送迎車両への安全装置の導入などへの支援が行われる。子どもの安全は最優先で行われるべきであり、現場で有効に活用してほしい。

文教委員会より

伝統文化・文化財保護についての考え方

- Q 現在伝統文化の継承や文化財保護は、市民の手弁当の活動など市民負担に頼りすぎの部分が見られる。市として支援の在り方を見直すべきだと考えるが見解を問う。
- A 市民に負担が生じていることは承知している。現在作成中の文化財保存活用地域計画によって、適切な活用と保存を行うとともに支援の在り方も検討する。



市民が喜んで伝統文化の継承や文化財保護を行える支援の環境を再検討するべきである。現在、所管は教育委員会の文化財保護課が行っているが、文化振興や観光といった観点も含めた市長部局への所管替えも検討するべきと考える。

学校調理室の暑さ対策について

- Q 給食は自校方式で行われているが、調理を行う給食室の夏の暑さは過酷なものとなっている。環境改善が必要なのではないか?
- A さいたま市の給食室のエアコン設置率は約37.5%であり、埼玉県65%、上尾市・川口市の100%と比べても遅れている。学校施設リフレッシュ基本計画などで対応していきたい。



夏の調理場の室内温度は、耐え難いものになっている。学校施設リフレッシュ基本計画などではなく、労働環境の健全化という点からも早急にできる対策を講じるべきである。

第4回 (仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン有識者懇話会

今後の浦和のまちづくりの方向性のベースとなる浦和駅周辺まちづくりビジョンの有識者懇話会(隈研吾会長)が11月17日に行われた。このビジョンは、本庁舎や市民会館の跡地利用を点で考えるのでなく、県有地も含めた今後起こりうる公共施設再編や駅前民間商業施設の更新を面で考える取り組みの、基本的な考え方を示すものになる。3月にビジョンの完成発表と合わせて次年度以降の取り組みをテーマとしたシンポジウムが行われる予定となっている。現在、(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン(素案)への意見を募集中。



新会派「さいたま未来市議団」結成!

11月7日付で『さいたま未来市議団』を結成いたしました。国や県の都合に左右されず、地域の視点から、さいたま市民にとって最善の道をまっすぐに選択し、市長とは是々非々で議論する。建設的な議論を行い、議会としての主体性を持って議員提案を積極的に行う。そのための新会派結成となります。同日付でこれまで所属していた「民主改革さいたま市議団」から離れました。会派の皆さま、ご関係の皆さまには、大変お世話になりました。新会派団長は、小柳よしふみ、幹事長は土井裕之が務めます。是非ともご期待ください。



現在、解体工事中

浦和駅西口南高砂地区再開発事業・市民会館うらわ移転

浦和駅西口駅前の再開発事業は、現在解体工事が進められている。地上27階、地下2階の建物は、商業施設B1F~4F、公共施設2F~5F、居住施設(525戸)6F~27F、駐車場(408台)B1F~B2Fとなっている。核テナントなど詳細は今後決定する。公共施設は、市民会館うらわ、子育て支援センターうらわなどが移転する。市民会館うらわは、650席、100席等4つのホールにスタジオ機能や集会室機能も備える予定。スケジュールは、下表の通りですが、令和8年6月竣工、市民会館は令和9年4月共用開始予定となっている。

今後のスケジュール(予定)

